蟻蟻蟻蟻蟻蟻蟻蟻蟻蟻蟻

※※※※※※※※※※※※

上川北部医師会
なよろ眼科
井上（いのうえ）　玲（りょう）

今年も奴が現れた。少し暖かくなってくると、どこからともなく蟻が室内をうろつき始める。

我が家の室内でよく見かけるのは真っ黒い蟻ではなく、胴体の一部がちょっと赤っぽい小型の蟻である。スマホで撮った写真を見ながらネットで検索してみるとアメイロアリに似ているが、素人なのでわからない。

もう、10年以上前から毎年春先から出現し始めるので、室内のあちこちに市販のプラスチック容器入りのいろいろな種類の毒餌を年中設置しているが、残念ながらそれを食べている姿は見たことがなく効果のほどは怪しい。毎年、姿を見かけるたびに蟻用の殺虫スプレーをしてもいるが、完全にいなくなることはない。

そんな中では、今回試した液状の毒餌はこれまでの固形の物よりも効果がありそうである。珍しく寝室の隅に設置していたプラスチック容器入りの毒餌付近に蟻が数匹いたので、隣に新たに液状の毒餌の皿も設置してみたところ、数時間後には白い餌皿にうじゃうじゃと群がってきて、行列を作っている。

観察していると１～２時間もすれば餌が空っぽになる勢いで、頻繁に補充が必要なほどである。ずっと見ていて補充することもできないので、いつものプラスチック容器入りの毒餌も並べてみたがこちらはあまり食べていそうには見えない。

そして、２日ほど経つと蟻の姿は激減しほぼ見なくなった。これでようやく撲滅できるのではと期待が高まる。しかしながら、１週間経っても蟻はちらほらと見かける。寝室ではほぼ見なくなったが今度は茶の間などで頻繁に見かけるようになってしまった。別の巣の蟻であろうか？

しばらく様子をみたが増える一方で、新たな撲滅作戦が必要のようだ。同じように液状の毒餌の皿をいくつか設置して見るが、出現場所が結構ランダムなせいか前回のように餌皿に群がる様子がない。しばらく様子を見るが、今回は１～２週間経っても蟻は減るどころか増える一方だ。毎日２～30匹は見かける。そこでいろいろな毒餌をあちこちに設置してみるもやはり効果がない。液状の毒餌の皿の上に死骸を数匹見ることもあるが、以前のように群がる様子はない。どうやら、このような毒餌は巣のすぐ近くか蟻が頻繁に行き来する通り道でないと効果が低そうだ。

そしてある暖かい日、爆発的に蟻が増え茶の間には３～40匹以上の蟻がうろつき壁を歩く蟻の姿も見かけるようになるに至り、耐えかねた妻が殺虫剤を噴霧し始めた。これまでは殺虫剤を撒くと餌の誘引効果がなくなると聞いていたので我慢していたがもう限界である。

これまでの専守防衛に限界を感じ徹底抗戦方針へと方針転換する。

侵入経路が疑われる壁際の床に、「速効駆除＆３か月予防効果」があるという蟻用殺虫スプレーを大量に噴霧。あっという間にスプレー缶が空になる。そして、建物の外側の基礎コンクリ付近の砂利～外壁の下の辺りにシャワータイプの蟻用殺虫剤を大量に撒いてみる。本当は巣を見つけて直接攻撃したいところだが、建物の周りをぐるりと探してみても巣を見つけることができない。建物の周囲は砂利なので巣があっても見つけるのは困難だが、これだけ室内に侵入するならきっと基礎付近に巣があるに違いないと見当をつけての絨毯爆撃である。

これらの効果はてきめんで、室内では死骸や瀕死状態の蟻ばかりを見るようになり元気に歩く蟻は激減。しかし、４～５日様子を見てもまだ一日に７～８匹は見かける。以前の１／３程度に減ったので、餌の設置よりも即効性が高いがやはり巣がわからないと撲滅は難しいようだ。もう一度シャワータイプの蟻用殺虫剤を外に撒いてみるがこれ以上は変わらない。

そして何度も建物の基礎付近をよく観察した結果、わずかながら他よりも蟻を多く見かける場所が数か所あったので、それらの砂利の上に最初に室内で使った液状の毒餌を大量に垂らしてみた。

翌日見ると、そこに蟻が比較的多く集まっているのが見られ、翌々日にはそこに蟻を見なくなり、そして数日で室内にも蟻をほぼ見なくなった。おそらく、そこは幸運なことに蟻の巣の近くだったのであろう。

こうして、ようやく我が家は蟻の撲滅に成功したのであった。あとはこの平和がいつまでも続くことを願うばかりである。

今回の蟻（アメイロアリ？）との攻防のまとめであるが、

- 設置型の毒餌は室内に適当に設置しても効果は低い。
- 液状の毒餌の方が効果は高い。
- 殺虫スプレーを部屋の隅々に撒くのは即効性が高いが、撲滅は難しい。
- 建物周囲への大量の薬剤散布も効果が高そうだが、撲滅は難しい。
- 巣の周囲への毒餌設置や薬剤散布は最も効果的。

蟻の種類などによって効果や対処法は異なると思われるが、同じ様に蟻に困っている方の参考になれば幸いである。